



平成24年11月
国土交通省
東北地方整備局
仙台河川国道事務所
仙台海岸出張所
岩沼市阿武隈一丁目2-16
TEL 0223-25-5431

11月7日(水) 現場見学会 -山下第一小学校-

平成24年11月7日(水) 山元町立山下第一小学校6年生の皆さんが、笠野工区の海岸堤防復旧工事を見学しました。

中村出張所長から 海岸堤防の破壊、倒壊までの時間を少しでも長くすることを目指した **"粘り強い海岸堤防"** の構造や工事の説明の後、鈴木現場代理人が子供達の質問に答えました。



子供達からは、「海の近くは怖くないの」「津波が来ても逃げられますか」などの質問に、「海は怖くありません。」「津波が見えたら助からないと思っている。だから常にラジオを携帯し、津波の情報があったら、**津波が来る前に直ちに高台に逃げる**しかないと思っている。」と答え、事前の準備と その心構えの大切さに、皆頷いて聞いていました。

子供達は、工事の説明や工事現場の話にメモをとりながら見学し、堤防工事について理解を深めてもらえたようです。



職場体験 -柳生中学校-

11月12日

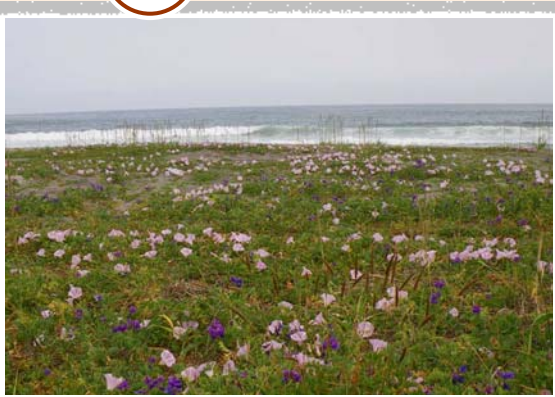
仙台市立柳生中学校の2年生の3人が、11月12日(月)に職場体験で北釜工区の現場見学をしました。

"公務の仕事は、大切な仕事だが、目にする機会が少ない"という理由で、国土交通省の職場を選んでくれたようです。

普段見ることがない大規模な工事現場を見学し、職業選択の幅を広げてもらえたでしょうか？！



連載 砂浜に生息する生き物 - その2 ハマヒルガオ



環境省第4回自然環境保全基礎調査(1992年)で海浜植物の残る自然海岸は約55%、人工海岸は37.8%になっている、と報告されています。今回は、減少傾向の海浜植物の中でも、繁殖力が強く、波打ち際に最も近く葉を広げているハマヒルガオについて紹介します。夏のハマヒルガオの群生の様子は砂浜の花畑のようです。

ひるがお科の多年草 日本全土の海岸の砂丘地に自生、花期は7月~8月。葉に「クチクラ」と呼ばれる透明で強い膜状の構造が発達しており、これが水分の蒸発を抑え、乾燥や塩害を防ぐ役割を果たしている。太く短い茎から根を伸ばし、横に長く伸びる地下茎で大群生を形成させる。